

貸借対照表

(2025年3月31日現在)

(単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(360)	(負債の部)	(197)
流動資産	184	流動負債	197
現金及び預金	0	買掛金	10
売掛金	32	未払費用	101
商品及び製品	4	未払法人税等	74
原材料及び貯蔵品	3	その他の	8
仕掛品	0		2
短期貸付金	137	固定負債	-
未収金	4		
その他の	1		
固定資産	176	(純資産の部)	(162)
有形固定資産	157	株主資本	162
建物	25	資本金	50
機械及び装置	52	利益剰余金	112
工具、器具及び備品	8	その他利益剰余金	112
建設仮勘定	71	繰越利益剰余金	112
無形固定資産	-		
投資その他の資産	19		
繰延税金資産	18		
その他の	0		
合 計	360	合 計	360

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品	移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
製品、仕掛品	総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
原材料及び貯蔵品	総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

1) 有形固定資産 定額法

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	15年～38年
機械及び装置	12年

3. 収益及び費用の計上基準

当社は、株式会社村田製作所の農園管理、関係会社において製造部・管理部等業務の受託、およびマスクの製造・販売を行っております。受託業務については役務提供の完了時点、マスクの販売については出荷時点において収益を認識しております。また、収益は、顧客との契約において約束された対価から、返品を控除した金額で測定しております。

4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

- 1) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。
- 2) 当社はグループ通算制度を適用しております。

(当期純損益金額)

当期純利益 18 百万円